

市民のひろば

管・打楽器ソロコンテスト九州大会で金賞を受賞

2月24日、宮崎県都城市総合文化ホールで行なわれた第9回JBAソロコンテスト九州大会で、合志中学校3年の吉田美菜さんが金賞を受賞しました。

吉田さんは、打楽器マリンバで「プリズム」という曲を演奏しました。3月22日には、東京都で行なわれた全国大会に出場し、細やかな音符を表情豊かに表現し、会場中にマリンバの音が響き渡りました。



受賞を喜ぶ吉田さん

プロ野球島井選手からバッティングゲージの寄贈

プロ野球の東北楽天ゴールデンイーグルスに入団した、熊本ゴールデンラークス出身の島井寛仁選手が、バッティングゲージを寄贈しました。

ラークス時代に市総合運動公園野球場を練習場として利用しており、市の野球の発展のためにとの思いが込められています。

島井選手は、俊足が武器の外野手で即戦力として今後の活躍が期待されます。



高村教育長に目録を渡す島井選手（左）

法務大臣から感謝状の贈呈

人権擁護委員として12年間活動された東窪正一郎さん（杉並台）の功績に対し、1月8日付で法務大臣から感謝状が贈られました。

東窪さんは、本年1月にご逝去されましたが、在任中は人権における相談活動や人権擁護活動に尽力し、地域における人権啓発に大きく貢献しました。

贈呈式では、代理で奥さんの順子さんが感謝状を受け取りました。



他の人権擁護委員なども同席し東窪さんの功績をたたえました

合生文化会館だよりがコンテスト入賞

2月22日、鹿児島県のマリンパレスで全国隣保館だよりコンテスト表彰式が行なわれ、参加総数355作品の中から、合生文化会館だよりが佳作に入選しました。

合生文化会館や地域での催しや行事など盛りだくさんで、地域に密着した「たより」であったことが評価されました。九州からは2作品が選ばれ、熊本からは唯一の入選となりました。



これからも楽しい会館だよりを作ります

人権よもやま話

春号



人権擁護委員 澤田 弘子

自分らしく生きていくために

「幸せになりたい」という思い、これは人として誰もがみんな同じように思い抱く願いであり、「明るく幸福な人生を送りたい」という願いは、人類すべての望みです。ところが、私たちの身の回りには、「偏見」や「思い込み」、「固定観念」などによって「いじめ」や「差別」「虐待」などが毎日のように起こり、悲しい事件として報道されています。

私は子ども部会に所属していて、子どもたちのSOSミニレターの返事、小学校の人権の花運動の取り組み、中学生の人権作文コンテストの審査などに携わっています。これらの取り組みから、子どもたちが相手の気持ちを考え、思いやることの大切さに気づき、すべての人が個人として尊重され、互いに共存できる豊かな社会の実現に向け、微力ながら頑張っていると心得ています。

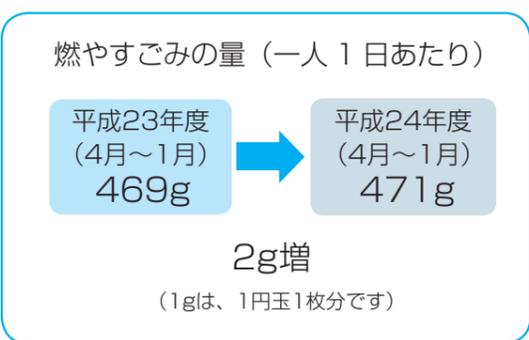
な人権感覚が問われています。今こそ私たち一人ひとりがそれぞれの個性を尊重し、互いの違いを認め合いながら、それぞれの「生命の尊厳」を原点に据えて、他人事（ひとごと）ではない、自分の事として捉えられる人権感覚が必要とされています。

そのような中、私たち人権擁護委員は、熊本地方事務局阿蘇・大津支局の協議会の中で、子ども人権部会、男女共同参画社会推進部会、社会福祉部会のいずれかに所属し、さまざまな啓発活動に積極的に取り組んでいるところです。

燃やすごみの量を

お知らせします

燃やすごみとして出す前に、資源物の分別と生ごみの水切りを行い、燃やすごみを減らしましょう。



※ごみ排出量については、東部清掃工場に収集車で搬入されるごみと直接搬入されるごみの量です。可燃性粗大ごみは含んでいません。

消費生活センターです

詐欺的「サクラサイト」商法にトラブルにご用心

相談事例

「在宅ワーク」と携帯電話で検索したら「悩みを聞いてあげれば収入を得られる」という広告を見てサイトに登録した。メールの送受信は無料と書かれていたが、お金を受け取るにはポイント購入が必要と言われ、いろいろな名目でポイントを購入し続け、1週間で100万円以上になってしまった。

アドバイス

つき込んだお金を取り戻したいという気持ちで、お金をもらえろというメールを信じ、さらにお金をつぎ込むことになってしまい、取り戻すことができないという相談がたくさんあります。その他にもサイトに呼び込むいろいろなパターンが数多くあります。おかしいと思ったら、早めに消費生活センターへご相談ください。

問い合わせ先 消費生活センター

(合志庁舎2階 総務課)

☎(248) 5442

相談受付時間

平日 午前10時~午後4時